

変容する戦争ジャーナリズム

～ウクライナ報道とメディア～

●オンライン参加可 ●会場参加は定員50人(抽選)

ロシアのウクライナ侵攻をめぐる「情報戦」は、戦争報道の変容を見せつけられた。SNSによる発信、フェイクニュース、プロパガンダの見極めー。

市民が発信するSNSを含め、さまざまな角度から“事実”とされるニュースが飛び交った「戦争報道」。

ベトナム戦争時のような従軍報道からインターネット時代の報道となった湾岸戦争、イラク戦争などを経て行われたウクライナ情勢をメディアはどう報じたのか。

国家単位の視点でしか報じられない戦争報道（異論や少数意見が戦争になると埋没してしまう）、新聞テレビの識者が国家単位で物事を語ることへの違和感など、メディアの発信力が問われた一連の報道を検証するとともに、新聞の役割をあらためて考える。

2022年
11月1日 (火)
 13:00～16:15
 12:30 受付開始
プレスセンターホール
 (日本プレスセンタービル10階)

基調講演



高村 薫 ■作家

大阪市生まれ。1975年、国際基督教大学教養学部人文科学科卒業（専攻はフランス文学）、卒業後は外資系商社勤務。「黄金を抱いて翔べ」で第3回日本推理サスペンス大賞受賞、「マークスの山」で第109回直木賞受賞、「レディ・ジョーカー」で毎日出版文化賞受賞、「太陽を曳く馬」で第61回読売文学賞、「土の記」で第70回野間文芸賞受賞など。2014年9月より、世界平和アピール七人委員会のメンバーの一人。

プログラム

13:05	第1部 基調講演 高村 薫氏
14:05	休憩
14:15	第2部 パネルディスカッション (パネリスト) 林 香里氏 立岩陽一郎氏 津田 大介氏 杉田 弘毅氏
16:15	終了

パネリスト



林 香里 ■東京大学大学院情報学環教授

名古屋市生まれ。ライター・通信東京支局記者、東京大学社会情報研究所助手、ドイツ、バンベルク大学客員研究員（フンボルト財団）を経て、東京大学大学院情報学環教授。2021年4月より、東京大学理事・副学長（国際・ダイバーシティ担当）。社会情報学博士。朝日新聞論壇時評筆者。著書に「足をどかしてくれませんか メディアは女たちの声を届けているか」（編著）（亜紀書房）、「メディア不信 何が問われているのか」（岩波新書）、「〈オンナ・コドモ〉のジャーナリズム ケアの倫理とともに」（岩波書店）、11年（第4回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞）、「テレビ報道職のワーク・ライフ・アンバランス 13局男女30人の聞き取り調査から」（谷岡理香と共編著）（大月書店）、ほか。専門：ジャーナリズム／マスメディア研究。



津田大介 ■ジャーナリスト

ジャーナリスト／メディア・アクティビスト。ポリタス編集長／ポリタスTVキャスター。大阪経済大学情報社会学部客員教授。1973年東京都生まれ。早稲田大学社会科学部卒。メディアとジャーナリズム、テクノロジーと社会、表現の自由とネット上の人権侵害、地域課題解決と行政の文化事業、著作権とコンテンツビジネスなどを専門分野として執筆・取材活動を行う。主な著書に「情報戦争を生き抜く」（朝日新書）、「ウェブで政治を動かす!」（朝日新書）、「動員の革命」（中公新書ラクレ）、「情報の呼吸法」（朝日出版社）、「Twitter社会論」（洋泉社新書）ほか。2011年9月より週刊有料メールマガジン「メディアの現場」を配信中。



立岩陽一郎 ■ジャーナリスト・InFact編集長

NPOメディア「InFact」編集長、大阪芸大短期大学部客員教授。1967年神奈川県生まれ。NHKでテヘラン特派員、社会部記者、国際放送局デスクなどを経て現職。「コロナの時代を生きるためのファクトチェック」（講談社）「ファクトチェックとは何か」（岩波書店）「ファクトチェック・ニッポン安倍政権の7年8カ月を風化させない真実」（徳間書店）。毎日放送「よんチャンTV」、フジテレビ「めざまし8」総合解説。



杉田弘毅 ■共同通信社特別編集委員

1957年愛知県生まれ。一橋大卒。1980年共同通信社入社。91年テヘラン支局長、2005年ワシントン支局長、13年編集委員室長、16年論説委員長。著書に「検証非核の選択」（岩波書店）、「アメリカはなぜ変わるのか」（筑摩新書）、「[ポスト・グローバル時代]の地政学」（新潮社）、監訳「新大陸主義」（潮出版）、「国際報道を問いなおすーウクライナ戦争とメディアの使命」（ちくま新書）など。21年5月、日本の国際報道を長年けん引したとして日本記者クラブ賞を受賞した。早稲田大学大学院講師、日本記者クラブ企画委員、国際新聞編集者協会（IPI）理事も務める。

変容する戦争ジャーナリズム

～ウクライナ報道とメディア～

参加費
無料

オンライン参加

申し込み方法

- 新聞通信調査会ホームページから
<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索



- QRコードから直接



申込締め切り日 **10月26日(水)**

※ご登録いただいたメールアドレスへ10月28日(金)以降に参加URL等の情報をお送りします。

会場参加

申し込み方法

- 新聞通信調査会ホームページから
<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索



- QRコードから直接



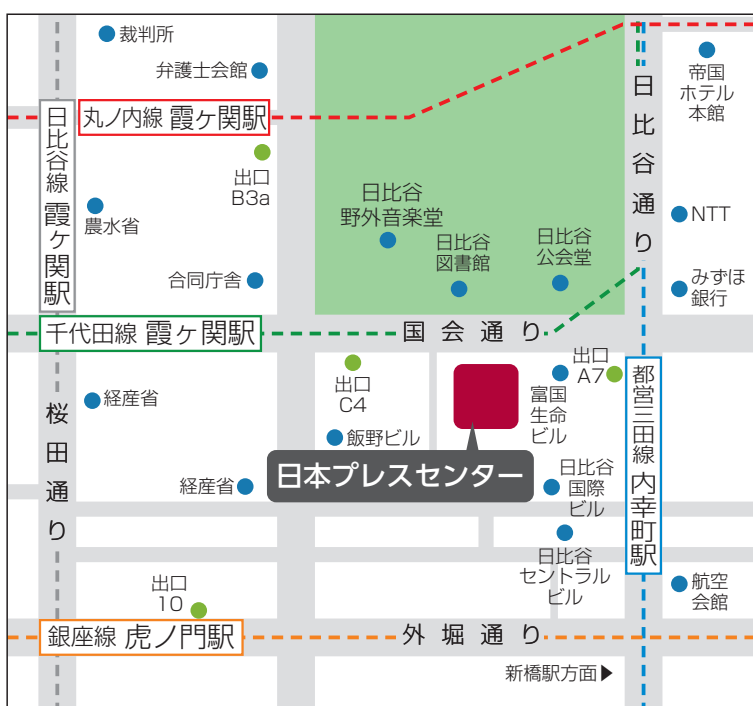
定員 **50人(抽選)**

申込受付期間 **9月7日(水)～
9月30日(金)**

※抽選結果は10月4日(火)以降メールでお知らせします。
※ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

お問い合わせ先

公益財団法人 新聞通信調査会 [✉ chosakai@helen.ocn.ne.jp](mailto:chosakai@helen.ocn.ne.jp)



交通アクセス

プレスセンターホール (日本プレスセンタービル10階)

東京都千代田区内幸町2丁目2-1

- 千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口より徒歩2分
- 丸の内線「霞ヶ関」駅 B3a 出口より徒歩5分
- 三田線「内幸町」駅 A7 出口より徒歩2分
- 銀座線「虎ノ門」駅 10 出口より徒歩7分